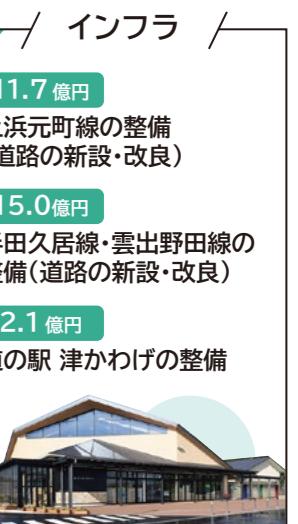
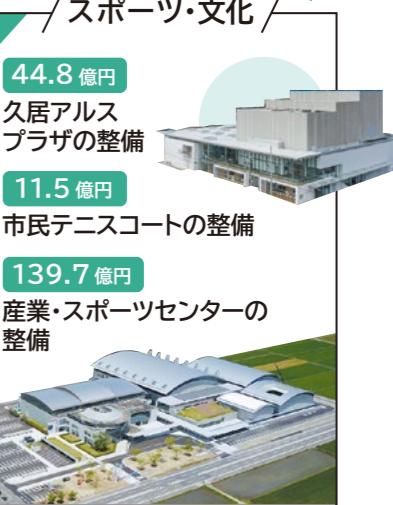
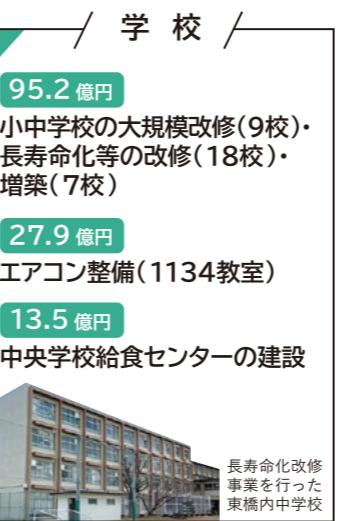


合併特例事業債
発行限度額
710 億円

合併特例事業債を活用して実施した主な事業

※金額は合併特例事業債の活用額(令和7年度分の見込み額を含む)



積み重ねた20年の先へ

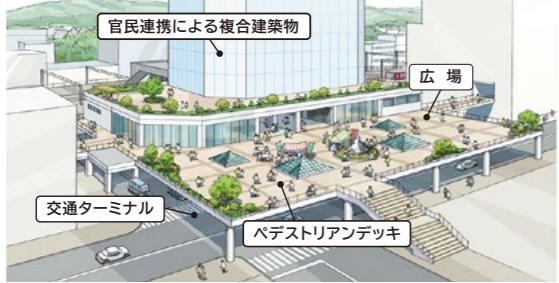
特例債は令和7年度で発行期限を迎えます。津市は、これを見据えて他の財源を確保し、国の補助金等を活用して、大谷踏切の拡幅や津興橋の架け替えといった大規模な整備を進めてきました。

同じく今年度、さらなる財源として地方創生第2世代交付金の採択を受け、総事業費48億円で6つの事業がスタート。そのうち18億円を投じるのが、次世代を担うこどもたちのための公園づくりです。この公園づくりは、「こどもまんなか社会実現会議」を開催し、子育て当事者の皆さんに関わっていただきながら進めています。市民の声を見える化し、在りたい未来を共に創る。この市民参画を促す新たなスタイルは、他の分野でも取り入れています。

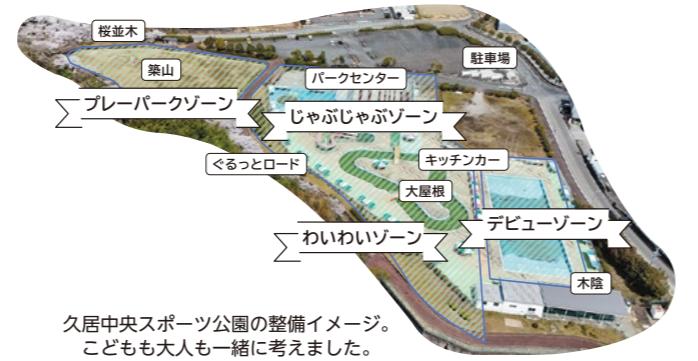
中心市街地である大門・丸之内地区は、多様な関係者で設立したエリアプラットフォームが主体となって官民一体でまちづくりに挑戦しています。

約50年ぶりの駅前再編に向けた可能性を追求する「私たちの津市」のス

トーリーに、どうぞご期待ください。



約50年ぶりの駅前再編に向けた可能性を追求。



久居中央スポーツ公園の整備イメージ。
こどもも大人も一緒に考えました。

